

# 百年前の未来予測

よこた じゅんや  
横田 順彌

めあて

ほとんどの未来予測がなぜ当たったのか、読み取るつ。

「無線電信および電話」の項目

例えば、「無線電信および電話」の項目では、電話網が世界じゅうに広がり、

この予測にはただおどろくしかありません。

「遠きよりの写真」

予 カラーテレビの登場  
当 テレビさえ完成していない  
現 世界中の出来事をカラーテレビで見ることができる

「自動車の世」

予 自動車全盛時代が来る  
当 自動車が輸入されたばかり  
現 自動車全盛の時代になった

「鉄道の速力」

予 石炭が必要でなくなり、けむりが出なくなる  
車内に冷暖ぼつ設備が整う  
時速二百四十キロになり、東京・神戸間を二時間で走る

「未来予測に生かす予測（主張）」

当 石炭で走る蒸気機関車しかなかった  
新橋・神戸間を十七時間二十二分もかかっていた  
現 新幹線「のぞみ号」



文章表現  
・ただ、ありません  
・じじいさか、ささえ  
・でじじい。  
・もしかしたら〜かも

全く根きよのない予測がほとんどなかった

## 3 / 11 時間目 指導略案

使用するワークシート…

### 活動のねらい

未来予測の事例の書き方を読み取り、未来予測を行う上で必要な論の述べ方や表現の工夫に気付くことができるようにする。

- めあてを確認し、学習の見通しをもつ。
- 前時で使った「無線電信および電話」の例を提示し、未来予測の述べ方について確認する。  
一文ごとに何について書いているかを考えさせながら読ませる。  
予測したこと 当時の様子 現在の様子 が書かれていることを確認する。
- 他の事例について、確認した3点に着目して読む。  
教材文に 予—— 当—— 現—— の線を引かせる。  
事例ごとにワークシートにまとめ、事例ごとに発表させる。
- 九段落の「全く根きよのない予測がほとんどなかった。」という文に着目させ、予測をする上で根きよとなるものが必要なことを押さえる。  
【発問】 たくさんの予測が的中したのはなぜでしょう。
- 自分たちの未来予測をすることについて必要な事項を確認する。  
未来予測を行う上で必要なポイント  
「予測」「当時（今）の様子と予測につながった根きよ」  
作者の文章表現方法で使えそうなもの  
ただおどろくしかありません。  
まだカラーテレビどころか、テレビさえ。  
現在の新幹線「のぞみ号」そのままと違っていいでしょう。  
もしかしたら、筆者は外国文明の発達ぶりを見てきた人かもしれません。等
- 学習を振り返り、自己評価をする。

評価 未来予測記事を行う上で必要な論の述べ方や、表現の工夫に気付くことができる。